

令和3年度 いいたてホーム医務室事業計画

1. 年間目標

持病があっても健やかで快適な日常生活をおくことができるよう支援します。

また、一職員として『いつもと違う』ということに気付ける人間性と専門性を磨けるような環境を目指していく。

新型コロナウィルスについては、感染拡大防止のための留意点について、国・県・公域から発せられる通知等、漏れなく収集することを目標に、また知りえた情報は適宜現場に周知することを徹底したい。

終末期においても施設生活が安心して送れるよう、他職種間との連携・協働体制を深め必要とされる知識・技術についても共に学習し、最期まで寄り添い、支えていく。

また、入居者のみならず、職員の健康管理にも留意し、定期健診は基より、個別の相談などにも対応できるよう専門知識の向上と時節に合った管理指導に努めていく。

2. 利用者及び職員の健康管理

① 定期健康診断

- ・ 入居者 —— 年1回の基本検診、年1回の胸部レントゲン（結核検診）
- ・ 職 員 —— 年2回の基本検診（夜勤業務従事者）年1回の基本検診（一般）
- ・ 腰痛検査 —— 年2回の問診と適宜専門医診察（特養介護員）

② 健康状態の把握

- ・ 体温、脈拍、血圧の測定を定期的に行い、状態に応じてパルスオキシメーターでの酸素飽和濃度を計測及び腸雜音の聴取と観察など行うことで体調の変化を観ていく。
- ・ 食事量、水分量の把握。
- ・ 排便コントロール、排尿量、性状の観察に努めていく。
- ・ 定期的な回診の継続と処方薬の管理
- ・ 受診については、胃瘻チューブの交換など定期的なものをはじめ、緊急・急変時の対応をする。
- ・ 入院加療となっても、定期的な訪問を継続する（新型コロナウィルス感染症対策による当該病院の指示範囲で）

③ 疾病の予防

- ・ 感染症対策
- ・ 基礎疾患の悪化防止
- ・ 褥瘡予防
- ・ 誤嚥性肺炎予防
- ・ 基礎疾患の悪化を防ぐ

④ 職員の健康管理の指導

- ・ なんでも勉強会の活用
- ・ インフルエンザ予防接種実施
- ・ 新型コロナウィルスのワクチン接種への促し

3. 勉強会の年間計画

	テーマ	備考	担当者
4月	新型コロナウィルス感染症について 「いいたてホームとしての対策」		佐藤
5月	内服薬 「管理と副作用について」		菅野（若）
6月	食中毒予防、環境衛生		菅野（ミ）
7月	看取りケアと緊急時の対応		菅野（若）
8月	脱水と熱中症対策		菅野（ミ）
9月	栄養と皮膚トラブル		佐藤
10月	インフルエンザ		菅野（ミ）
11月	ノロウイルス感染症		菅野（若）
12月	排泄と褥瘡		菅野（若）
1月	認知症の理解とケア		佐藤
2月	腰痛予防とストレッチ		佐藤

4. 日課計画表

	午 前	午 後
日課	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間状況の把握 ・入居者の一般状態確認 ・受診通院の調整 ① 朝食援助 ② 医療処置 ③ バイタルチェック ④ 処方薬の管理 ⑤ 生活援助 ⑥ 機能訓練 ⑦ 昼食援助 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ ケア会議出席 ⑨ 入浴後の衛生処置など ⑩ 医薬品と衛生材料の補充 ⑪ 配薬 ⑫ 夜勤者への申し送り ⑬ 夕食援助 ⑭ 記録

5. 年間・月間・週間内容

	看護職が主体に担う	他職種と連携して行う業務
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断 ・予防接種 ・医療従事者としての勉強会開催 ・施設内診療の調節と介助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成 ・行事への参加 ・受診介助 ・機能訓練
月間	<ul style="list-style-type: none"> ・体重測定 ・常備薬点検 ・衛生材料管理 ・勤務表作成 ・定例会の実施 ・機能訓練予定作成 ・なんでも勉強会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事への参加 ・各会議への出席 ・各委員会への参加 ・予定表提出
常時	<ul style="list-style-type: none"> ・定期回診日の診療補助 ・処方薬分包 ・薬品発注、受理 ・処方薬の把握と服薬指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、器具の点検と整備 ・通院の介助 ・施設内研修の企画